

2023, 3, 26

第27回「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会アンケート

- A. 1, なんて知ったか。(エ) その他 2, 住まいは。吹田市
3, 保護者 当事者：中1, (4月～)
4, 会のことを小学校の支援級の先生から古い資料をお頂いて調べましたが、ネットで簡単に会の情報が出てきませんでした。本来なら北摂の会に参加したかったのですが、見つけきらずに、こちらに参加させていただきました。支援級には2年お世話になりましたが、放課後デイの存在も知らずに4年前からスクールカウンセラーも利用していたのに、情報不足を感じています。会の情報を各学校の支援教室に届くシステムや、会とは関係なく、支援室同士の情報交換やただの共有だけでもしていただきたいと普段から思っています。また各市町村に小中学生の時から障害児やグレーゾーンのこどものために、まとまった情報を提供してもらえるようなシステムや部署がほしいと思っています。
- 本日参加してみて、吹田ではここ数年で支援計画を小→中と引き継ぎして書面に残っていくようになりましたが、例えば配慮事項の申請書を書くときに利用できるタイミングが来るかもしれないと思いました。今後は受験を見据えて、記載して残していくようにしたいなと思いました。
- あと、本日の資料は、上のお子さんとかが居ないと初めて見た人には、わかりにくいと思いました。中学生は、高校入試に向けてどのような過ごし方をすればいいのか、中学生に向けて小学生の間にどうしておけばいいのか、時系列でまとめたり、困りごとパターン、障害別パターンなどのバージョンが違う資料があればいいなと思いました。
- B. 1, (エ) 関山さん、松森さんから 2, 河内長野市
3, 保護者
4, 本日は、話す機会を与えて下さり、ありがとうございました。拙い説明で、失礼いたしました。竹村さん、豊高さんのお話は、参考になりました。
- C. 1, メール等の情報から 2, 寝屋川市
3, 児童指導員 (小学校)
4, ・小→中→高の進学の詳細を当事者の(保護者の)方々から聞いたこと、とてもありがたかったです。貴重なお話をありがとうございました。
- 豊高さんの「まず、本人にどうしたいかを聞くべき」にはっとさせられました。普段、双方向のコミュニケーションが困難だと、話しの通じる周囲の人間だけで話し合ってしまうがちです。でも、本人だって「何がやりたい、やってみたい」がある

はずなので、きちんと話すことを常に忘れないよう心がけていきたいと思いました。

・教育とは無縁の業界から児童支援員の仕事に就きましたが、一度保護者から「中学の支援級に入ると内申がつかないと聞いた。本当か？」と相談しているのを聞き、ネットで調べる等して見たものの、全く情報がなく、中学以降の支援に関してブラックボックス化していないかと疑問に感じ、少しでも実態を知りたくて参加しました。

・お恥ずかしながら、支援学校についてもあまりう知らず、支援級にいる子を見て「支援学校の方がいいのでは？」と思うことも多かったですのですが、当事者の方々の「決してパラダイスではない」の言葉で考えを改めました。お話を聞いてよかったです。

D. 1, メール等の情報から 2, 寝屋川市

3, 保護者

4, 住み慣れた地域で暮らし続けたいという思いは誰もがあがる。

私の子も中学 2 年生で、支援学校ではなく、みんなといっしょに地域の高校を希望している。本人も努力している。今後もこのような場で、私も学び情報を収集したい。

高校入学だけが目標ではなく、今後も地域で本人らしく生活が送れるように、多方面で支援が広がればと思う。

*寝屋川市に住んでいますが、私の子が通っていた小学校の支援級に在籍していた 6 人は、全員地域の中学校に進んでいます。

*この会に参加するたびに、考え方が変わります。勉強になります。今後も参加したいです。

E. 1, メール等の情報から 2, 枚方市

3, 教職員 (小学校)

4, 寝屋川市の方の悩みを聞き、実は、私はその中学校校区で働いています。確かに、支援のことについては、話しが進んでいないので、管理職や本校職員に伝えていこうと思います。(ご本人達にもそう伝えました)

F. 1, 友人・知人から伝えられて 2, 枚方市

3, 保護者

4, 体験談を聞いて、よかったです。

G. 1, 学校の先生から 2, 枚方市

3, 保護者

4, 同じような立場のご家族のお子さんの成長をくわしくお話をされ、お聞きできてとても良かったです。先が見えず、どうしていこうか悩みがちですが、学校生活での体験やお話は、非常にありがたかったです。

高校はまだ先ですが、今から考えていこうと思います。

最後に豊高さんがおっしゃった本人の気持ちの大切さ、これにとっても共感しています。子の気持ちに寄り添い、歩んでいきたいです。

H. 1, (エ) 学校の手紙から 2, 枚方市

3, 保護者

4, すごく参考になりました。

長男は、ASD, ADHD, 発達協調性運動障害、軽度知的障害。次男は ASD, LD 疑いがあります。

高校進学について悩み初めて居たので、一筋の光が見えた気がします。

今後も学習会に参加させて下さい。

I. 1, メール等の情報から 2, 枚方市

3, 保護者 (成年)

4, 遠方からの参加者もあり、研修室の大きいところにこれだけの人数の方が来られる。ご本人さんと保護者の参加もあり、すごいな～と思います。この会を続けられている事務局の方々、先生鑄型の努力に頭の下がる思いです。

次々と高校受験・合格・進学・卒業・就職などチャレンジを続け、道を開いておられる方々がいることを改めて知ることができて、本当に良かったです。

ご本人様からの発言もあってすごいです！

J. 1, メール等の情報から 2, 枚方市

3, (エ) その他

4, 今日はいろいろな話、3人の親御さんの話をお聞かせ頂き、ありがとうございます。ありがとうございました。

松森先生のおっしゃること、もっともだと思います。

K. 1, メール等の情報から 2, 枚方市

3, (エ) 元教員

4, 国際水準－文科省・教育委員会のたて前と実態－現場での意識・実態の乖離は、まだまだ大きいと感じました。諦めずに、一步一步進めていくしかないのだと。

L. チャットから

私は大学で社会福祉を学んでいます。今日の講演で、当事者本人だけでなく、その家族の関わりがととても大きいと感じました。今日の学習会大変勉強になりました。
ありがとうございます。

M. Zoom 参加者から

◆ 1. メール等の情報から 2. 枚方市 3. 保護者、教職員

リモート参加させて頂きありがとうございました。

用事をしながらの為、全時間帯のしっかり参加は出来ませんでしたが、竹村さんのお話は少し集中して聞かせて頂けました。

高校入学は出来ても進級することの難しさ等がよく分かり、厳しく難しい問題に考えさせられました。

zoom 配信のトラブルはどこの勉強会であることだと思っていますので、全く気になりませんでした。

それより、会場へ行かせて頂けない時に zoom 配信はとて有り難いです。

学習会が中止になったわけではなく、参加させて頂きましたので参加協力費は振り込ませて頂きたいです。振込先をお知らせ下さい。

会場準備、配信準備と大変でしょうが、これからも宜しくお願いします。

◆ 1. 学校の先生から 2. 枚方市 3. 保護者

- ・夫婦とも是が非でも普通学級にという考えではありませんが、子供にとってどんな選択肢があるのか情報収集したいという思いで参加させていただきました。
- ・という意味では知らない情報もたくさん知ることができましたし、体験談についても非常に勉強になりました。
- ・オンライン配信については、プロとしてある程度の参加費を取って収益目的とかでやられているわけではないのでしかたがないのかなと思いました。少なくとも音声は到達していて、必要な情報は得ることができているわけですから。
- ・ただ、意見交換については、オンライン参加者も参加できる仕組みがあればいいのかなと思いました。いきなり双方向のやり取りはハードルは高いと思うので事前に質問をメール等で受け付けておき、それに回答される等がいいかもしれません。
- ・あと今回のオンライン参加者は慣れてらっしゃる方ばかりだったので問題ないかもしれませんが、参加中はマイクをミュートにしてくださいとかビデオはオフでお願いしますとかの指示があった方がわかりやすいかもしれません。

あくまで意見として書かせていただきましたが、今回本当に参加してよかったと思いますので、ありがとうございました。

◆先日は大変お世話になりました。私は大阪の話と言うこともあって、もう少し軋轢なく、高校進学が実現された方の話なのかと思っていたのですが、全くの認識不足だったなと思いました。差別の連続の中で進学を勝ち取らないといけないと言う厳しい現実が全くわかっていなかったなあととても勉強になりました。

確かに、作業をしていらっしゃる方たちの声は聞こえていましたが、オンラインではよくある話なのでそれほど気になりませんでした。講演の内容とかははっきり聞こえていましたし。料金を免除してくださると言う事、申し訳ない気もします。ご好意に甘えます。ありがとうございます。

アンケートもありがとうございます。ダウンロードして読ませていただきたいと思います。

今後もまた何か参加させていただけるような会があればご案内いただけたら嬉しいです。

文科省の山田課長が交代となり、次はもう少し話のわかる人になりそうだとすることを知り合いの記者から聞きました。少しは対話のできる関係が気づけたら良いなと思います。引き続きどうぞよろしくお願いします。

◆ご連絡ありがとうございます。

先日の学習会、会場へ行かせて頂く予定でしたが、急用が入り、了解を頂かないまま、勝手に zoom 参加させてきました。すみません。

色々話を聞かせて頂き、お子様達の頑張りか凄いなあと感心したり、うまく前に進んでいけないお話では切なかったり、とても勉強になりました。

又、あの日の午前中に zoom 参加していたインクルーシブ教育研究会の司会の方が勉強会に参加されていて驚きました。

又、次回も宜しく申し上げます。

帆流斗のことを気にかけて頂き、
ありがとうございます。
昨年秋、無事に採用試験で内定を頂き、
先日、城東工科高校も卒業出来ました。

4月から茄子作の家から自転車で10分程にある、
不二鉄工所で働かせて頂く予定です。

採用試験で内定を頂いてからは、
教習所に通い、無事に運転免許も取得できました。

◆26日はお声かけていただいて、参加・発言の
機会を与えていただいてありがとうございました。

先にお二人話された方がパワーポイントで
整理されたお話をされているのを聞いて、
少々圧倒されて私の方はなんだかまとまりのない
話になってしまった、役に立ったのだろうかど
思っていたのですが、よかったよと言って
いただいてほっとしました。

ふみひろにお花もいただいて、ありがとうございました。
人は意味もわかってなくてなんです、写真撮らせて
もらってフェイスブックにアップしたら、すごく
いい写真ですねと何人もの方からコメントをいただき
ました。私の目は曇っているのかなあと思った次第です。

ふみひろも話を聞いてくれているような気が
していましたが、やはりそうだったのですね。
前に座らせていただいて、本当によかったです。

本人の意思をきくということの大切さについて、
はっとしたと感想に複数の方が書いてくださって
いるのを見て、ああ、やはりそうなのだと思います。
私も教えられ半ば疑いながら何年もかかってようやく
分かってきたことなのでした。

そういう意味では、当事者の方が代表になり、会の運営に携わっている、北河内連絡会はすごいなあと思います。これは英国でもできていなかったことだと思うのです。というのは、子ども情報研究センターで英国の視察ツアーに行った時に、ご一緒した北村恵子さん（かなちゃんの母さん）が、「英国で本人発信して、国会議員に意見書を出したりしていると言っていたけれど、それは言葉がうまくできる人たちのことで、言葉も出ないようなひとたちの発信はなかったよね」とぼそっと言っておられたのです。

そうだよなあと思いながら帰国後参加した大阪のどこかの大会で車いすユーザーさん、発語もほぼないと思われるような方々が見事に本人発信されている場を見て、すごいやん、日本の方が大阪の方がよほど進んでると思った、そのことを一昨日思い出しました。

北河内連絡会の会を支えるパワーとして、携わっておられる当事者の方々、それを実現させる皆さん、すごいと思います。うまく言えないけれど、本当にすごいと思いました。

そして、感想をすぐにまとめて皆さんに発信してください、関山先生皆さんのお力にただただ頭の下がる思いです。

中に枚方の保護者の方で、「先生からこの会のことを教えてもらった」と書いておられる方がいらして、関山先生始め事務局の皆さんが学校を訪ね、チラシを渡してくださいとがんばってこられた地味な努力が認められたのだと思いました。

広報は大切なのですね。あらゆる機会をとらえて発信していかないといけないのだと思いました。

それで思い出したのですが、フリートークの場で、私は、地元桜丘中学校での誰も知らないようなエピソードをお話しできたらよかったのだと思いました。

支援学校中学部に進学したけれど不登校になった生徒さんの保護者が地域の中学校への転校を考えられ相談に行かれたことです。

中学校側ではその生徒さんが来られるならこうしようという手配も考えていたそうなのですが、でもお母さんがふんぎりがつかなかった、3月のぎりぎりになってやはり地域に戻りたいと言って行かれた、でもその時ではもう教師の手配ができなくなってしまっていたのです。

学校の仕組みで、お願いするならこの時までという期限がある、教育委員会で教師の手配をする期限なのでしょうか、そういうことを保護者は知らない、けれどそれがとても大切だということ。学校は隠してるわけじゃないけど聞かれなかったら特に言わないでしょう。

そういう「学校の期限」ということも意識して動いてくださいね～ということ、発言できればよかったです。

さらにいうと、中学校でも受け入れようとして最大限にがんばってくれたこと、そして、もう期限が過ぎたから教員の手配はできないけれどそれでも中学校に来ようとしてくれるならなんとかしようなんとかしたい、と先生方が心を入れてくれたということ。そういうことも伝えられたらよかったのになあと、後になって思いました。地域の学校も捨てたもんじゃないよということです。ちょうど十年前の話で、今はどうかわからないけれど、でも、そんな風に

学校は、「やりますよ」と大声で言わないけれど
実はすごく考えてくれてるということを伝えられた
らいいなあと思いました。いつか機会があったらです。

長々と書いてすみません。

学習会でお話させていただいたこと、久しぶりに
ふみひろと一緒に暖かい場に出れたことで、少し
私も息子のことを見直すと言うか、彼とのかかわりを
前向きに考えられるようになったような気がします。

ありがとうございました。皆様にどうぞよろしく
お伝えください。

これからもどうぞよろしく申し上げます。